

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	全科・2年	書 I (光村図書出版)
副教材	なし					
学習目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指します。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにします。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにします。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。</p>					

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解する。</p> <p>書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりする。</p>	<p>主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組む。</p>
<p>・定期試験、確認テスト</p> <p>・ワークシート、作品等</p>	<p>・定期試験、確認テスト</p> <p>・ワークシート、作品等</p>	<p>・予習課題、授業中の取り組み</p> <p>・ワークシート、作品等</p>
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表への取り組み、課題の提出、確認テスト、定期試験等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容(特色を含む)			
月		月	
4	漢字の書 書作品を鑑賞することで、書の美や世界を感得する。	10	楷書や行書の古典を生かして、作品を制作することで、文字による自己表現をする。
5	基本的な楷書の用筆・運筆を基にして、さまざまな楷書を直感的・分析的に見ることで、書風の意義を理解する。	11	期末試験
6	文字の造形を学ぶ 楷書の古典を鑑賞・臨書することで、自己表現の在り方について考え、理解する。	12	漢字仮名交じりの書 書作品を鑑賞することで、書の美や世界を感得する。
7	期末試験	1	
8	書作品を鑑賞することで、書の美や世界を感得する。	2	仮名の古典を鑑賞・臨書することで、用筆・運筆を学び、仮名の美意識について考え、理解する。
9	行書の古典 基本的な行書の用筆・運筆を基にして、行書の古典を鑑賞・臨書することで、自己表現のあり方について考え、理解する。	3	学年末試験
			仮名と漢字の調和について学び、書の現代的意義について考え、理解する。

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業では 色々な書体を理解し、表現の幅を広げ書くことの喜びを育てていきます。</p> <p>2 家庭では 街中にある古典を応用した看板等の文字をレポートし、それを討論の教材として、文字の理解を深めていきます。</p> <p>3 その他 書道の学習では、「字が上手になる」ことが最終目的ではなく、古典の学習・鑑賞を含め豊かな情操を育て、表現する喜びを会得することにあります。私と一緒に「書」を楽しみましょう。</p>